

一般演題：発表6分、質疑応答2分
シンポジウム：発表10分、質疑応答5分

時間	座長	会場	演題	演題名	筆頭演者	施設名
13：00～13:05	広島大学大学院 医系科学研究科 周手術期・ クリティカルケア 開発学教室 教授 田邊和照	R204	ランチョンセミナー 13：00～13：50	胃がん周術期治療におけるMATTERHORN試験 の位置づけと治療戦略	柳本 喜智	大阪国際がんセンター 消化器外科 副部長
14:00～15:04 発表 6分 質疑 2分	一般演題 1 広島大学病院防府 消化器病センター 内視鏡外科講座 寄附講座 准教授 佐伯吉弘	R204	1-1 14：00～14：08	横行結腸狭窄を伴う腹膜播種に対しステント留 置・化学療法後にconversion surgeryを施行し た4型胃癌の1例	カタヤマシホコ 片山志穂子	広島大学病院 消化器外科移植外科
			1-2 14：08～14：16	残胃全摘術後の輸入脚症候群に対しPTGBD ルートをを用いた経胆道の十二指腸ドレナージが 奏効して再手術を回避できた1例	シノハラアキラ 篠原啓	県立広島病院 消化器・移植外科
			1-3 14：16～14：24	肝浸潤を伴う上行結腸癌に対して腹腔鏡下右半 結腸切除術および肝S6部分切除術を施行した1 例	ヒウラユウタ 日浦雄太	NHO 東広島医療センター 消化器外科
			1-4 14：24～14：32	ロボット支援下で切除境界不明瞭な骨盤壁浸潤 直腸癌に対し、HALSが有用であった1例	マツモリリュウスケ 松森亮祐	JA尾道総合病院 外科
			1-5 14：32～14：40	経仙骨的アプローチが有用だった骨盤内腫瘍の 切除2例	シノハラマコト 篠原充	広島大学大学院医系科学研究科 消化器・移 植外科学
			1-6 14：40～14：48	肛門管原発腺扁平上皮癌の一例	モリウチシユキ 森内俊行	広島大学病院 消化器・移植外科
			1-7 14：48～14：56	リンパ節転移を伴う卵管癌膀胱転移の1例	オオハラタクマ 大原拓真	県立広島病院 消化器外科
			1-8 14：56～15：04	乳房針生検におけるCNBとVABの比較検討一採 取組織量・処置時間・安全性の評価一	ヒノサキコ 日野咲季子	広島大学病院 乳腺外科
14:00～15:04 発表 6分 質疑 2分	一般演題 2 広島大学病院 がん化学療法科 講師 徳毛健太郎	R203	2-1 14：00～14：08	前立腺癌に対する超寡分割照射	モンゼンヨシオ 門前芳夫	広島平和クリニック 高精度がん放射線治療 センター
			2-2 14：08～14：16	超音波応答性酸素ナノバブルによる腫瘍低酸素 改善と放射線治療への応用可能性	セキハラカズマサ 関原和正	広島大学原爆放射線医科学研究所 疾患モデ ル解析研究分野
			2-3 14：16～14：24	再発・進行性髄膜腫および孤立性線維性腫瘍に 対するバゾパニブの治療成績	タケイシユウスケ 竹石雄介	広島大学病院 脳神経外科
			2-4 14：24～14：32	甲状腺癌におけるBRAF/MEK阻害薬の使用経 験	タハラ ヒロアキ 田原寛明	広島大学大学院医系科学研究科 耳鼻咽喉科 学・頭頸部外科学
			2-5 14：32～14：40	頭頸部アルミノックス治療前の腫瘍浸潤形態と 局所制御に関する病理学的検討	ワタナベマコト 渡部真	広島大学大学院医系科学研究科 耳鼻咽喉科 学・頭頸部外科学教室
			2-6 14：40～14：48	下顎歯肉扁平上皮癌における下顎管浸潤に関す る後方視的検討	モリシタコウタ 森下廣太	広島大学大学院医系科学研究科 口腔腫瘍制 御学
			2-7 14：48～14：56	放射線性顎骨壊死における放射線誘発性線維化 の重症度と手術成績の関連	イトウナナコ 伊藤奈七子	広島大学大学院医系科学研究科 口腔腫瘍制 御学
			2-8 14：56～15：04	頸部郭清術後の肩痛に対し接触鍼を施行した1 例	キタムラミズハ 北村瑞葉	広島大学大学院医系科学研究科 口腔腫瘍制 御学
シンポジウム 15:15～16:30 発表 10分 質疑 5分	シンポジウム 広島大学病院 がん化学療法科 教授 岡本 渉	R204	3-1 15：15～15：30	BCLC-B 肝細胞癌におけるup-to-7基準の予後 的意義と集学的治療の検討	タドロロタケン 田所剛志	広島大学大学院医系科学研究科 消化器・移 植外科学
			3-2 15：30～15：45	当院における進行胃癌に対する低侵襲手術の成 績	コウハタアキヒロ 高畑明寛	広島大学大学院医系科学研究科 消化器・移 植外科学
			3-3 15：45～16：00	高齢・脆弱患者の切除不能局所進行癌に対す る化学放射線療法一5例の治療成績と在宅生活 維持一	カラクチノゾミ 唐口望実	県立広島病院 臨床腫瘍科
			3-4 16：00～16：15	治療到達率向上を目指したCGP選択戦略 一検体品質を踏まえた組織CGPと血漿CGPの使 い分け一	ニイツヒロアキ 新津宏明	広島大学病院 遺伝子診療科
			3-5 16：15～16：30	がん薬物療法における多面的アプローチ (Multifaceted Approach) の実際 一当科での 取り組みと症例経験一	トク モ ケン タロウ 徳毛健太郎	広島大学病院 がん化学療法科